

## 甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 令和元年12月25日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（7名）

委員長	五味武彦君	副委員長	伊藤毅君
	秋山照雄君		金丸幸司君
	有泉庸一郎君		内藤久歳君
	藤原正夫君		

議長 清水正二君

### 欠席委員（2名）

金丸寛君 松井豊君

### 傍聴議員（なし）

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	本田泰司	書記	奥石文明
書記	長田大地	書記	中込美智子

### 議題

- 1 市民と議会の対話集会について
- 2 その他

開会 午後 1時29分

○書記（輿石文明君） 改めまして、こんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、委員長挨拶、五味委員長、お願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 改めまして、お疲れさまでございます。こんにちは。

きょうが、ことし最後の会議になろうかと思えます。ご苦労さまでした。

ことし最後ですけれども、来年の2月12日に向けての対話集会の詰めというか、段階的にやらせていただきますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、清水議長、お願いいたします。

○議長（清水正二君） 改めまして、こんにちは。

先ほども話がありましたけれども、委員会もこの議会改革特別委員会がことし最後という形になりまして、トリでございますので、ぜひその点でまたいろいろご審議いただくように、きょうはそういったことで、市民と議会の対話集会についてということで、細部にわたってご検討願いたいと思えます。よろしくをお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては五味委員長、よろしくをお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） ただいまの出席委員は7名になりました。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

なお、金丸寛委員及び松井委員につきましては、欠席の連絡がありましたので、報告をいたします。

---

○委員長（五味武彦君） 本日の会議を開きます。

それでは内容に入りたいと思えます。

内容（1）市民と議会の対話集会についてを議題とさせていただきます。

お手元に資料が行っていると思います。始めさせていただきたいと思います。

それでは、私のほうから説明させていただきます。

まず、1ページについては、前回のものが全て入っております。特に変更点は、なかろうかなというふうに思いますので、一応確認していただきたいということになります。また戻るかもしれません。

2ページのほうへいきたいと思います。

10番の一番上、開催チラシ、これを作成いたしましたので、こちらから議題とさせていただきます。

まず、お手元に「市民と議会の対話集会」ということで、A4版でカラー刷りというふうな形で作成しました。タイトルは、「これからの甲斐市に望むこと」ということで、思っていることを、皆さんの声を聞かせてください。「皆さまからいただいた貴重なご意見は、市議会として、調査・研究を行い、今後の政策提言などへつなげていきます」ということです。

日にちが2月12日水曜日、午後7時から9時まで。開場は午後6時30分からというふうな格好になります。場所につきましては、竜王北部公民館4階ホールと。住所も入っております。

対象者が、甲斐市民の方を対象というふうな形になります。括弧書きで、小学生以上の同行も可能ということです。

内容に入りますと、第1部が議会報告会、これは約20分ということで、市議会の役割や活動などを報告するというふうな形になります。これについては、議長挨拶等々がございますから、実際のプロジェクターを使っての説明はこれより少なくなるというふうな形になるかと思えます。

第2部につきましては、意見交換会ということで、こちらを結構時間をとったというふうな形です。各テーブルに分かれ、市民の皆様約10名と議員3名がテーマの「これからの甲斐市に望むこと」に沿って意見交換を行います。米印にありますが、最後に各テーブルのご意見を議員が発表しますということで、まとめをそれぞれの記録役の方になるかと思えますけれども、それぞれのテーブルのご意見を発表していただくという形になります。

あと、問い合わせ先が議会事務局というふうな形になります。

一通り説明しましたがけれども、一応要点等々、余りいろいろ書いてもしょうがないので、原案としてはこういうものを案として出したいというふうに思っています。

これについてご意見があれば、お伺いしたいと思います。

秋山委員、どうぞ。

○委員（秋山照雄君） この一番上の、「甲斐市議会主催 市民と議会の対話集会」と、こういう題になるんですか。

○委員長（五味武彦君） そうですね、主催があくまで。

○委員（秋山照雄君） 甲斐市議会主催、普通こういうものは、一番下のほうへ、「主催 どこどこ」と入りますよね。

○委員長（五味武彦君） 今までもそんな形でやっていたと思うんだけどもな。別にそれは構わないんですけども。

○委員（秋山照雄君） ただ、表の文章と、この「甲斐市議会主催 市民と議会の対話集会」と、これが一通りになるんだったら、この上のほうへ入れてもいいけれども、ほかの文章というのは、主催は「主催 どこどこ」と、普通下のほうへ入っているような感じがするんだけれども、その辺はどうですか。

○委員長（五味武彦君） 今、秋山委員から、一番上の右肩、「甲斐市議会主催」というのがちょっと、一番下の問い合わせ先の前ですか、入れるとすれば。

○委員（秋山照雄君） 後ろです。最後。

○委員長（五味武彦君） 最後か、のほうへ入れたらどうかという話があるんですけども、ほかご意見はございますか。

秋山委員からはこうしたらどうかということで、皆さん方のご意見をちょっとお伺いしておかないと。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 前回のパターンで全部、これで来ているか。

○委員長（五味武彦君） 事務局、どうぞ。

○書記（輿石文明君） 去年のパターンは、これで来ています。

それで、結局、スペース的な関係でここに入っていますけれども、ここを逆に入れかえるとか、このままでいいよということであるとこのままですし、一番下にも入りますので、その辺はどうにでもなろうかと思えます。

○委員長（五味武彦君） 藤原委員、どうぞ。

○委員（藤原正夫君） そうであれば、「甲斐市議会主催」をもうちょっと太字にするとかで、これでいいような気がしますけれども。たしかにいろんなあれだと、主催、後援なんてあると、一番下にあるところもあるにはあるんだけども。私はこの右肩の上を太字に市議会

の主催というのにすればいいような気がしますけれども。

以上です。

○委員長（五味武彦君） ほか、どうですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） このままの場所で太字にすると。位置的にはお二方、あと1人、ご意見を伺いたいと思います。

伊藤副委員長、どうぞ。

○委員（伊藤 毅君） チラシを確かにパッと見たときに、上に「甲斐市議会」という名前があるほうが、すぐ「甲斐市議会のことなんだ」とわかりやすいというのと、秋山委員が言ったように、甲斐市議会主催の市民と議会の対話集会という捉え方でこの位置でいいかと思うんです。これ、太文字にすればいいと思います。

○委員長（五味武彦君） 3人の方から、この場所でいいんじゃないかというふうな話がありましたので、お諮りします。この場所でもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、太くするというふうなことで、いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、そのほかに。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 太くすると言っても限度があると思うけれども、また、下の市民と議会とこれと同じにやっちまうとまたぼけちゃうので、その中間ぐらいの、細かいことを言えばその辺でいいんじゃないかなと、全体のバランスを考えるとね。

以上です。

○委員長（五味武彦君） これを若干大き目にして、ちょっと太字にして、そうは言ってもタイトルとかぶらないようにということでもいいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） ほか、内容的にはどうでしょうか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、このチラシについては、これを直した上で皆さん方にお渡ししますけれども、チラシ、ことし中にはできないので、来月に入ってから、メールボックス

に入れるか、何かの会議の折に皆さんにお配りするかという方法をとりますけれども、枚数的に、前は40枚ぐらいそれぞれ渡したかな。

事務局、どうぞ。

○書記（輿石文明君） ちょっと記録がパッと出てこないですけども、二、三十枚だったと思うんですけども、あのときは募集が100名以上だったので、議員さん一人当たり幾人ということをお願いをしたんですけども、今回予定している募集人員60名程度ですので、各委員さんが2人ずつ連れてくるともう44人という形で、あとは広報とか見た方が来るという形になりますので、10枚ぐらいかななんて思っていますけれども、どのぐらい議員さんにお渡しして配っていただくかということを決めていただきたいと思います。

○委員長（五味武彦君） 事務局から、前回のものを踏まえた話がありましたけれども、私の思案としても大体20枚程度あればいいのかなというように思います。それで、2人程度お誘いしてくださいというふうな形になろうかと思えます。もちろん3人でも構わないんですけども、2人ぐらいをお願いしたい。そうすれば、22人掛ける2名ということで、44人になります。そのほか一般参加等々があれば。いろんな団体さんが、入れば、もうちょっとふえるのではないかなと思いますので、大体20枚で2名をお誘いしていただきたいというふうに思えます。

じゃ、チラシについてはこんな形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、2ページの11に入りたいと思います。

役割責任者及び準備内容という形で、役割が一番左、それから責任者、それから準備内容という形で入っております。

まず、議会報告会については、私のほうで説明用の資料、説明原稿の作成というものをやらせていただきます。

あと、司会・写真撮影ということで、副委員長に司会原稿の作成、1部、2部にわたってです。それから、次第、これも1部、2部です。それからタイムスケジュール、大まかなタイムスケジュールという形で、時間割をしていただきたいというふうに思えます。

それから、意見交換会については、私と伊藤副委員長で、進行内容の資料作成、自己紹介、意見交換、発表というふうな形。それから、必要なリストの作成ということで、名札・記録用紙というふうな形になります。細かいことは後でまた申し上げます。

それから、会場設営・片づけ、これについては、先輩議員から順番に入れているだけです。

簡単に便宜上。私はというのがあれば、またお伺いしますけれども、藤原委員と内藤委員につきましては、会場レイアウトの作成という形。このような6グループになろうかと思えますけれども。それから、設営・片づけの資料作成、それから、リストの作成ということで、必要品の作成ということで、机・椅子・マイク・看板等々という形になろうかと思えます。

それから、受付・意見交換会グループ分けという形で、こちらのほうで有泉委員と松井委員、金丸寛委員がどうなるかちょっとわかりませんが、この方については、受け付け簿の作成、それから、必要品リストの作成、机・椅子・筆記用具ですね、それから、受け付け方法の資料作成、それから、意見交換会グループ分けの資料作成というふうな形の作業をお願いしたいということです。

それから、参加者アンケートにつきましては、金丸委員と秋山委員については、アンケート用紙の作成、それから、アンケート配布方法・回収方法の資料作成、それから、アンケート集計・報告書の作成という形になろうかと思えます。

あと、開会の挨拶は清水議長、閉会の挨拶は金丸副議長というふうな形。一応便宜上、上から順番にと並べさせていただきました。もちろんこれはほかの議員さんもこれにアシストという形で、現場的にはお手伝いに入るという形にはなろうかと思えます。こんな役割分担をさせていただきたいというふうに思います。

それで、上から3段目、意見交換会の必要品リストの作成については、名札とあります。これはよく胸に張りつけるような、参加者も議員もそうなんですけれども、名前を書いているだけで胸に張りつけるというふうな形をとらないと、進行役の方が名前も呼べないという状況が続きますので、ご自分でお書きいただいて胸に張るというふうな形をとりたいと思います。

それから、ICレコーダーを一応は用意します。それぞれ6テーブル、6個用意してということですが、それが全部記録できるかどうかわかりかねますけれども、あちこちでいろんな話が、雑音が入ってくるかもしれませんけれども、一応用意はするというふうな形をとりたいと思います。

参加者アンケートのところにありますけれども、金丸委員、秋山委員につきましては、アンケート用紙、これは前回のがありますので、それを見習ってつくっていただきたいと。それで、どうやって配るか、それから回収方法、どういうふうにするかの作成、それから集計報告書の作成というふうな形をお願いしたいというふうに思います。

有泉委員につきましては、松井委員と同じく、受付・意見交換会のグループ分けというふ

うな形で、受け付け簿の作成からいろんな形のものをお願いしたいというふうに思います。ただ、これは全部事前にやっていただかないと、当日一人ずつ誘導しなきゃならないということがありますので、早目にスタンバイしていただきたいというふうに思います。

この表の中で、これやったほうがいいんじゃないかというのがあれば、お聞きしたいと思います。

基本的には、議会主催ということなので、事務局の職員の方については、本当の裏方というふうな形で、議員が前面に出たいというふうな形をとりたいと思っています。

金丸委員、どうぞ。

○委員（金丸幸司君） 参加者アンケートのところなんですけれども、ほとんどの方がペンを持ってこないと思うので、ペンは事務局で、用意できるのでしょうか。

○委員長（五味武彦君） 事務局。

○書記（輿石文明君） クリップ鉛筆は、支度できますので、必要品リストに挙げていただければ準備いたします。

○委員長（五味武彦君） ほか、こういう対話集会ということなので、飲み物は出しません。

[発言する者あり]

○委員長（五味武彦君） 鉛筆はそのまま、帰りに回収ですけれども、大体持ち帰っている人も多いので、その辺はマナーに任せるということしかないかなと思いますけれども、最終的には回収しますと。回収場所で鉛筆のところは1つ、2つあれば、みんなそこへ入れていくかなと。ゴルフ場でよく使うようなあいう鉛筆だと思いますので。

特になければ、私のほうから、12のほうのその他のほうに入りたいと思いますけれども、参加者アンケートを実施、それから集合時間は午後5時というふうな、これは変わりません。そのほかに、実は欠席議員がもう既に出てきております。これは個人的な出張というふうな方もいらっしゃいますので、具体的に言うと、もう6班の長谷部議員は、欠席になります。それから、金丸寛議員については、ちょっと微妙な段階と。小浦議員も直前でないとわかりません。わかりませんが、一応予備的に3名欠席になるということであれば、1班減らさなきゃならんという形になろうかと思えます。

1班減らすということは5班になると。ということは、今度は出席者は今10名になっていますけれども、12名ぐらいにすればある程度、60名という枠であれば、振り分けられるということなので、これは直前にならないと班分け、5班にするのか、6班のままでいく

のかというのがちょっとわかりませんが、一応保険をかけたかなきゃならんということがありますので、最終的に5班になる可能性も出てくるというふうなことになると思います。これについてはどうでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今、明確にわかっているのは長谷部議員だけです。あと、クエスチョンマークが小浦議員と金丸寛議員。その2人がクエスチョン、現時点で。

そうすると、これは今後の予定の中で、どの時点で確定するかというのは、早目のほうがいいよね、どっちかという。早目に確認をしていただいて、自分の健康状態もあるから、むやみにやることもできないので、その辺のところは委員長に確認をしていただいて、ある時期にもう確定して割り振りをしちゃって、新たな編成を示してもらおうということのほうがいいかなと思うので、その辺もまた委員長にお願いしたいと思います。

○委員長（五味武彦君） わかりました。

確かに今、長谷部議員だけは欠席ということですから、ほかの方が出るということであれば、フリーの人をそのまま入れればよしと。ただ、これが2人、3人になっちゃうと、削らなきゃならん。ただ、これを早目に皆さん方に出欠をとらせていただいて、班分けをコンプリートしないとまずいかなという気ではおります。

〔発言する者あり〕

○委員長（五味武彦君） ですね。1週間前で大丈夫でしょう。1週間前か。そのほかは、前は、2月3日のほうがいいか。3日だね。

〔発言する者あり〕

○委員長（五味武彦君） それじゃ、もうちょっと2日ばかり早めて、2月3日、それぞれの会派がいらっしゃいますので、欠席の方、出欠をとっていただきたいと思います。この時間まで、1時半に始まりますので、この午前中までに各会派の方々の出席、欠席、これを確認していただきたい。そうすれば、その午後からの改革である程度のグループ分けが確定するかなと思いますので、今後の予定の中で、先に行っちゃって申しわけないんですけども、2月3日の午前中までに欠席の確認をお願いしたいということになります。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 報告は、事務局でいいのかな。

○委員長（五味武彦君） そうですね、事務局で。

じゃ、事務局宛てに、すみませんが、お願いします。

○委員（藤原正夫君） いいですか、その他で。

○委員長（五味武彦君） 藤原委員、どうぞ。

○委員（藤原正夫君） 私と内藤議員が会場設定ということで、ちょっとそれで、班でこういうふうにテーブルをつくるんですよね。それが、あれですか、係長、四角の長椅子では何人がけだったっけ、4人か。

○委員長（五味武彦君） 普通の長テーブルですね。

○委員（藤原正夫君） 1テーブルは4人がけですか、3人がけですか。

○委員長（五味武彦君） また現場等を確認していただきますけれども、1テーブルに今座っても3人だと思いますので。

興石係長。

○書記（興石文明君） 1テーブル3人です。4テーブルで12人です。

○委員（藤原正夫君） 4つか。はい、オーケー。

○委員長（五味武彦君） よろしいですか。

○委員（藤原正夫君） はい。

○委員長（五味武彦君） 基本的には、各班、テーブル4つという形で。

秋山委員、どうぞ。

○委員（秋山照雄君） さっきの、欠席が1人はもう確定しているけれども、2人欠席になった場合は5班にするのか、3人欠席になったら5班にするのか、2人と3人どっちか、ここである程度決めちゃったほうがいいと思う。2人でも5班でやっちゃったほうがいいでしょう。

○委員長（五味武彦君） そうすれば、1人余った方をどこかに入れちゃうということも可能です。ちょっとまだこの時点では判断できないんですけども。

じゃ、確認しましょう。1人の場合は、もちろんこのままフリーが入る、これはいいですよ。2人の場合は、さあ、どうしましょうと。もう2人になったら、5グループに分けて入れちゃうかということですね。

問題ないと思います。議員が3名と、これが1グループのところに4名になっても、できますから。

どうですか、じゃ、私のほうの提案で。2人欠席が出た場合は、5グループにしちゃうということでもいいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） もちろん3人でも同じになります。

じゃ、そんな形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） あと、どうでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、事務局からちょっと説明があるようです。

○書記（輿石文明君） こちら、資料の2ページの11番のとおり、皆様方に担当していただきますけれども、当然事務局、サポートを行います。各係ごとにサポートするものを言いますけれども、上から、議会報告会が長田、司会・写真撮影、長田、意見交換会、中込、会場設営・片づけ、長田、受付・意見交換会グループ分け、中込、参加者アンケート、中込、開会挨拶、閉会挨拶、長田がサポートいたしますので、資料作成とかアンケート用紙の作成だとかそういったものは、手書きの原稿をいただければ、こちらのほうで資料作成いたしますので、よろしく願いいたします。

○委員長（五味武彦君） それじゃ、職員がそれぞれ割り当ててあるようですので、各担当者はその職員の方と連絡を取り合って打ち合わせをお願いしたいということになります。

以上で終わりますが、最後の「今後の予定」のほうに入りたいと思います。米印のところ  
です。

1月27日になる前にチラシを配るとか、それから議会だよりに入れるとかということも  
ありますし、ホームページも載せるということがありますが、今回は、1月27日月曜日  
になります、午後1時半から委員会を開催ということで、役割責任者の準備内容の報告・協議  
ということで、これがある程度煮詰まったところでの話になろうかと思えます。

その次が、2月3日の月曜日、これは午前中までに出欠の連絡がありますので、それを踏  
まえた中で、本特別委員会の最終確認ということで、そこまでにコンプリートしたいとい  
うふうに思っています。

それが終わりましたら、2月5日の水曜日、午後1時半になりますけれども、全員協議会  
を開きます。対話集会の内容・役割分担等の説明というふうなことになろうかと思えます。

この前までに、ですね、議会報告の内容というのを縮めたものを、今までは20分とか40  
分とかいうものをさらに縮めたものにつくりかえなきゃいけないということなので、これは  
27日になるのか3日になるのかわかりませんが、一応27日を目指して、こういう内  
容でやりますよということで皆さん方にお示ししたいということです。それでオッケーをと

れましたらば、全員協議会の中でもう一回説明させていただくというふうな格好になるうかと思えます。

それから、12日がいよいよ午後7時から対話集会ということで、当日の集合は5時ということで、本特別委員もほかの議員も一緒に5時ということでお願いしたいというふうに思えます。

今後の予定についてはいかがでしょうか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 前のときには、全員協議会で通しのリハーサルというか、時間設定も含めてやったんだけど、今回についてはそれは実施するんですか。

○委員長（五味武彦君） お答えします。

今回は、このグループ分けとかいろんな必要なメンの方は、各グループの進行役とか何とかありますよね。やっぱり確認しなきゃいけないなというふうに思っています。こういうことをやります、あなたはこうですとかいうことは、再確認はしますけれども、リハーサルまでいくかどうかですね。

ただ、初めに、例えばグループに入る、委員が各入る、そこからの進行をどうやってやるかと、これは統一しないとまずいと思うんですよ。まず、出席者に挨拶してもらうことから始まって、じゃ、3分以内で話をしてくれとかいうことは統一しないとまずいかなということ、やはり全協の中でお話ししないとまずいかなと。ただ、その後の時間割についてはそうなんだけれども、その後の内容については、もうそれぞれのグループで対応するよりほかないかなというふうには思えます。

基本的には、ご意見を伺うという態勢では一応しておりますけれども。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 私が言ったのは、前ここで、例えば議会の紹介をするとき、読み上げてやりながら、一連の中で大体時間設定とかということをするのか。今言ったように、やるスタイルが変わっているから、それが必要、全協のときにそれをやるのかやらないのかということと、それからあと、この役割分担の中で、前は班ごとで集まって何か検討したような、話をしたような記憶があるのだけれども。

いずれにしても、班のメンバーが一応中身のある程度共有するというか、それを全協の中で対応していくという考え方でいいですか。

○委員長（五味武彦君） と思えますけれども。私のほうはそんな形をとりたい。

○委員（内藤久歳君） わかりました。

だから、ああいうプロジェクターを使ってそれはやらないの。前は担当者が読み上げてやったですよ、画面を見ながら。それはやらないということでもいいですね。

○委員長（五味武彦君） やらないということで。

○委員（内藤久歳君） はい、了解。

○委員長（五味武彦君） プロジェクターを使って説明はしますけれども、あとは、細かな役割分担をもう一回確認すると。流れを確認した上でというふうな格好になるかと思います。

あと、その前に、1班から一応6班まであるんですけども、各トップの方をお願いして、その中での進行役、補助役とか記録役、これでいいのかどうか、これを確認していただきたい部分があります。それは全協の前でないともまずいかなと。ですから、2月3日の時点でいいのかなというふうに思いますけれども。

もう一回全協のときに、どういう内容にするか詰めてみます。まだそこまで実は詰めていなかった部分がありますので、内藤委員のおっしゃるような形、なるべく丁寧につじつまが合うような格好で。何しろ5もしくは6グループに分かれて、それぞれ別個にやるものなので、ある程度統一性がないともまずいかなというふうには思います。

あとは、今、伊藤副委員長が甲府市の議会のほうから、タイムスケジュールとか何とか、ああいう参考資料をもらっていますので、ある程度の時期になりましたら、こういう割り振りで時間的にはこうなんだと、タイムスケジュールを組んだものをお示ししたいというふうには思っています。

今後の予定ですけれども、予定についてはよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） お願いします。じゃ、そのように進めさせていただきたいと思います。

その他に入っちゃった部分もありますけれども、最後にその他の的な形で構いません。ちょっと言い忘れたというものがあれば、お伺いしたいと思います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） よろしいですか。

年末でもございますので、早々終わって新年を迎えたいということがあります。ご協力ありがとうございました。

それでは、以上で市民と議会の対話集会についてを終わりたいと思います。

以上をもちまして、その他も終了しました、本日の日程は全て終了いたしました。  
これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会といたします。  
ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時07分